（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス　めばえサクラ　放課後デイサービス			
○保護者評価実施期間	01-15	～	03-15	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	30名	（回答者数）	10名
○従業者評価実施期間	01-15	～	03-15	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6名	（回答者数）	6名
○事業者向け自己評価表作成日	03-15			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の特性に応じた支援内容、活動の提供。	放課後の余暇における｢健康・生活｣、｢運動・感覚｣｢認知・行動｣｢言語・コミュニケーション｣｢人間関係・社会性｣の5領域の視点を軸に支援計画を作成。その内容をお子様の特性に応じた支援により実践している。	お子様一人ひとりの発達状況や課題点を確認しながら提供できる活動内容や関わりを細部に渡り決定していく。特にそのお子様の持つ「強み」を生かした活動の提供。お子様の学校生活への移行支援も強化していきたい。
2	余暇活動の中でそれぞれが主人公になれる環境の設定。	活動や支援内容がただ受動的に提供されるのではなく「やってみたい」、「チャレンジしたい」という主体的な「心の育ち」が生まれやすい雰囲気作り、環境作りを心掛けている。活動内容は主にPCタイピングとeスポーツを行っている。	支援者全員が個性や強みを生かせる活動内容や環境作りを今後も引き続き実践したいと考えている。適材適所に職員それぞれが持つ特性を発揮できるよう環境設定を行い、スタッフ全員がお子様の本来の力を引き出せる支援を継続したい。
3	現状の課題をスタッフ全体で共有し、支援内容に生かしていくチームとしての体制。	日々の些細な問題や課題等を早急に全体で共有し、どのような支援が可能か？またどのようにチーム全体で具体的に実現していけるか？ということを話し合いながら日々の療育に落とし込んでいる。	事業所全体の意見だけではなく、一人ひとりの職員の考えや、思いなどを支援内容に反映することも意識しながら、加えて統一性のある支援を心掛けて今後も良い支援チームを作り上げていきたいと考えている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の開催や、ご家庭への支援プログラムが十分とは言えない。	当事業所は現状、平日、祝日、土曜日、長期休暇のご利用の中でプログラムやイベントの開催が少ない面がある。また、保護者の方々も平日働かれている方がほとんどのため、なかなか時間が取れないのが現状。	今後はサービス提供日を含めて、保護者と利用児童両方が参加したいと思えるイベントを企画運営に盛り込んでいきたい。
2	地域交流およびインクルージョンとしての支援の提供が十分とは言えない。	地域参加、インクルージョンに関しては自治体のみならず社会としての「具体的な取り組みが課題」という状況のため、社会背景や地域の情報を収集しながら支援の内容を検討していきたい。	地域の福祉分野においての取り組みを十分にリサーチして、当事業所の取り組みに繋げていきたいと考えている。また一時的な内容のものではなく、定期的に継続して取り組みが可能な支援を検討していきたい。
3	バリアフリーおよび医療的な支援内容が十分とは言えない。	事業所の建物のハード面に関しては改善可能なものと改善が困難なものがあり、どのように適応可能な環境を提供出来るのかを十分に検討していきたい。医療的ケアに関しては看護師の獲得が困難な状況であっても、現状の有資格者で対応可能な内容を吟味していきたい。	全国の事業者による取り組み等を参考にしながら、当事業所でどのような支援が可能であるか？ということをスタッフ全員が個々に考えて実際の支援に繋げていきたいと考えている。その他外部研修にも参加し、スタッフ全員の研鑽にも努めて行きたい。